

## 野幌森林公園 (札幌市, 江別市, 北広島市)

札幌市  
江別市  
北広島市

## 大都市近郊の貴重な平地林

野幌森林公園は、大都市近郊ながら、平地にまとまった面積の森林が残された自然の宝庫として極めて貴重で、幅広い利用者層に親しまれている。

1885年(明治18年)野幌兵村が設置され、さらに入植により周辺の開墾が進むにつれて、森林の水源かん養機能の重要性があらためて認識されてきた。官林はいったん御料林に編入後、さらに国有林に編入されている。この際伐木停止林とされたが、その後出た国有林の分割払い下げの方針は、周辺農民の反対運動によって中止に至っている。

戦時代採伐、1954年(昭和29年)の洞爺丸台風による甚大な被害を被ったものの、1968年(昭和43年)には道立自然公園に、翌年にはその大部分が国設野幌自然休養林に指定され、森林としての保全管理が行われてきた。

また、北海道百年記念事業として百年記念塔や開拓記念館が建設されたほか、公園内には北海道開拓の村や自然ふれあい交流館、森林の家なども整備され、時代の変遷によく対応し、多くの市民が利用するなど地域的価値が高い。



市街地に接する平地林であることが分かる

## 概要

名称

野幌森林公園

所在地

札幌市厚別区厚別町小野幌 53-2(北海道開拓記念館)

管理者

札幌市、江別市、北広島市

規模

2,053ha

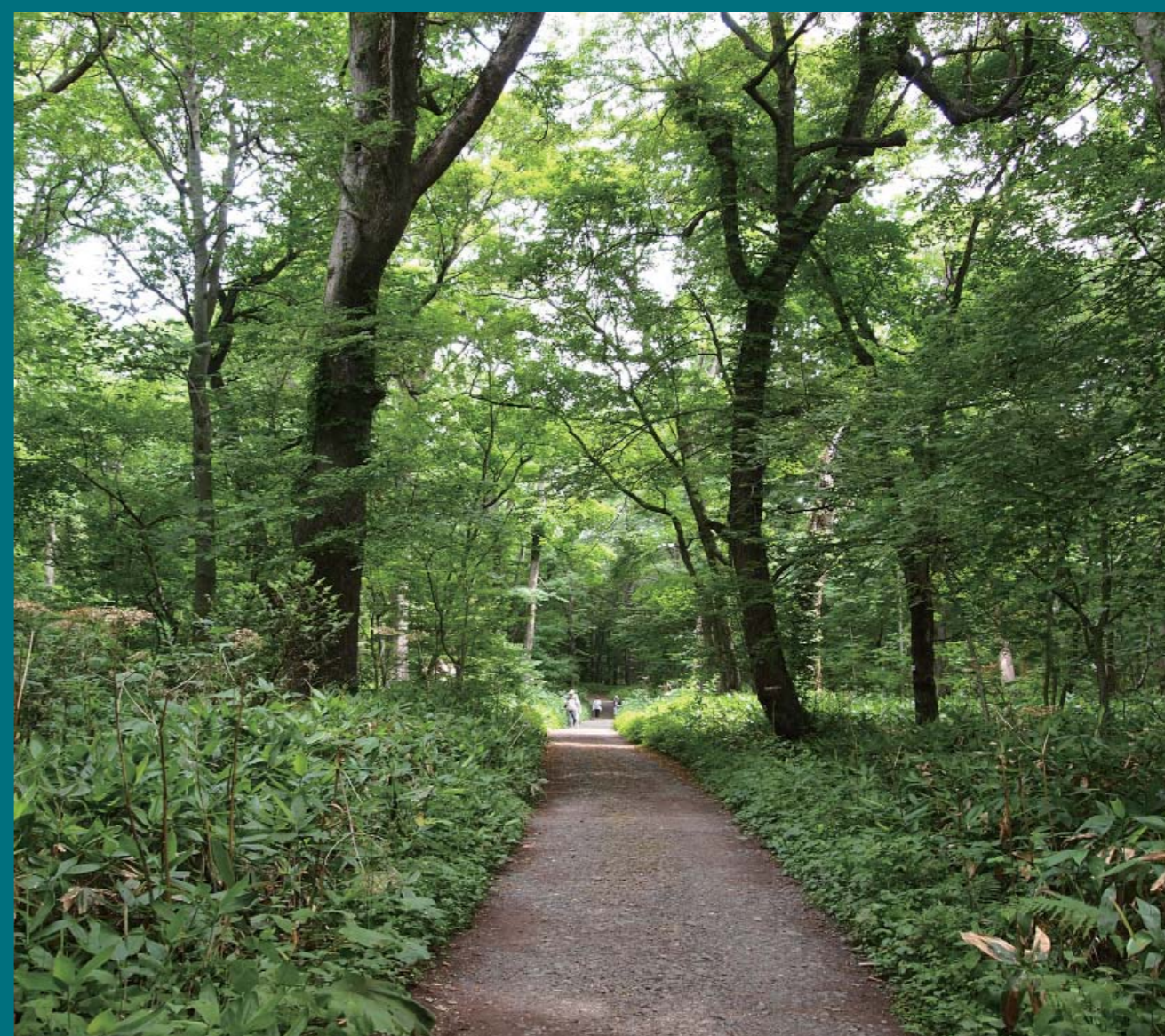
種別等

道立自然公園

指定年

1968(昭和43)年

1968(昭和43)年に北海道百年を記念して道立自然公園に指定されている



豊かな森が続く大沢口